



## 『日本武道館で会おう!!』

静岡県三島市

武修館

小学6年生 三浦 拓海 ガナー

3月11日、僕は岩手県北上市の小学校にいました。5時間目が終わる午後2時46分、突然教室が大きく縦に揺れだして、クラスメイトは皆、机の下にもぐりました。びっくりして泣き出す子の声で、教室はいっぱいでした。その時の恐怖は忘れません。

僕は2年生の時から、北上警察署剣道スポーツ少年団、さくら館という道場で剣道をしてきました。

僕は祖父が『赤胴鈴之助』というアニメが大好きだと聞いて、剣道に興味を持ったからです。それに、世界中どこに行っても、剣道を通して日本の文化を伝えていけると、母のすすめもありました。

11日は剣道の稽古日でしたが、町中が真っ暗になってしまい、稽古に行く事ができませんでした。2日後にやっと電気が通り、テレビをつけたら、ずっと震災のニュースでした。海ぞいの町は、津波によってひどい被害を受けた事が初めて分かりました。僕達さくら館が交流していた、宮古市や大槌町、気仙沼市の道場が跡形もなく消えていました。

毎日増えて行く犠牲者の中には、僕が試合をした事のある剣士や、助かったけれど、竹刀や防具は津波で流されてしまい、今も剣道ができない剣士もいるのかなあと思うと心が痛みました。

震災から1ヵ月間、道場が使えなくなってしまったさくら館では、「卒団生を送る会」も僕のお別れ会も中止になりました。ガソリン不足のため、先生が卒団生の家を雪の中自転車で一件一件訪ねて、記念品を配って下さいました。名前入りの木刀です。木刀は卒団する6年生におくられるものですが、3年間さくら館でがんばって稽古を続けてきたからと、5年生だった僕にも特別に下さったのでした。「三浦拓海ガナー」と名前が入った木刀は僕の宝物です。

どこにもガソリンが無かった状態から、突然引っ越しが決まりました。別れる時、さくら館の先生や仲間達と「日本武道館で会おう!!」と誓いました。4月始めのことでした。

4月11日、さくら館が震災後初めて稽古を再開した日に、さくら館や宮城県のあらた道場の先生に紹介された三島市の武修館へ初めて稽古に行きました。早速武修館の5・6年生と試合をしましたが、

風のように速い面や小手を打つ武修館の剣士にはかないませんでした。試合をしていくうちにさくら館の仲間達としてきた稽古を思い出して、涙が出てきました。試合が終わった後、美和先生に

「試合をやってみてどうだった？」

と聞かれたので、僕は

「やっぱり、岩手県よりレベルが高いなあ。」と弱気なことを言ったら、先生にポコンと頭をたたかれました。そして、先生が

「そうやって自分を小さくしないで、もっと、自分を大きくしなさい。」

とおっしゃいました。僕は心を打たれました。そうか、自分を大きくしないといけない。大きい剣道をしよう、と思いました。そして武修館で剣道することに決めました。

それから、武修館で3か月間。僕は歯をくいしばって、さくら館のみんなに会いたいという一心で、足をけがしても手は使えるので、素振りなどやれることをやりながら、稽古を積みました。そしてついに、あこがれの武道館に行く事ができました。さくら館のみんなも岩手県大会で優勝し、あの時の約束通り、7月26日に「全国大会」で再会することができました。

稽古の成果だけでなく、剣道が続けていれば会えると信じていたからこそ、僕達の夢は実現したのだと思います。岩手県では5年後に国体が行われます。復興した岩手県で、さくら館の旧友達と剣を交えたいです。そのため僕も剣道の静岡県代表として出場できるよう、稽古を積みます。

I like Kendo very much. Through kendo at Bushukan. I would like to extend the beautiful Samurai spirit through out the world. Thank you !!!